

調べてみよう！



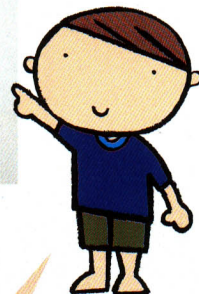
## ここは昔どんな場所だったのかな

郡山市の古くからの中心地である清水台しみずだいから発見されたこの遺跡いせきを「清水台遺跡」といいます。ここからは、土器どきや、瓦かわらなどが見つかりました。瓦は、今では珍しいものではありませんが、当時は役所など重要な建物じゅうよう たてものにしか使われていませんでした。そのため、ここは、地方の役所（郡衙ぐんが）がおお置かれていたと考えられています。

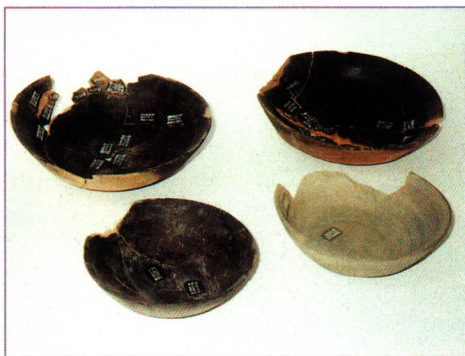
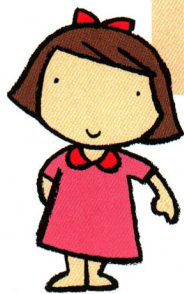
当時の人々の暮らしを、探ってみましょう。



① 見つかった土器



お皿さらの形も、今とあまりかわらないわ。  
このお皿には、どんな料理りょうりがのっていたのかしら。



① 土器

「厨くりや」って書いてあるね。  
「厨」って、なんだろう？



① 瓦

瓦は、今も屋根やねに使われているよね。



ひとくちメモ

郡衙

郡衙ぐんがとは、当時の地方を治める政治おさの中心地せいじとしておかれた役所のことです。この郡衙は、「安積郡衙あさかぐんが」と呼ばれていたものではないかとされており、「郡山市」の名前は、この「郡衙」の「郡」からついたものとされています。



- 清水台遺跡 郡山市清水台、赤木町
- 郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団 郡山市本町1丁目20番22号 ☎024-934-8358
- VTR「郡山市の奈良・平安時代」（市視聴覚センター作成）
- 郡山市の地名の由来について調べてみよう。